

「ボランティアスキルアップセミナー PART 1」

★事業の概要★

事業のねらい

体験活動や子どもとの関わり方を学ぶとともに、安全管理に必要な知識や技術を身につけることによって、施設ボランティアとしての資質の向上を図る。

期 日

平成23年 5月28日（土）～ 5月29日（日）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

高校生以上の青年

参加者数：参加募集人数

8名（参加者内訳：一般1人、大学生6人、高校生1人）：20名

講 師

国立大雪青少年交流の家職員

日 程

	〈午 前〉			〈午 後〉				〈夜〉		
5/28 (土)	受付	開講式	ボランティア活動 って何だろう (講義) 11:15~12:00	昼食	仲間づくり ゲーム 13:00~14:00	ネイチャー ゲーム 14:00~17:00	つごい	夕食	きみに できること (グループワーク) 18:45~20:45	入浴 休憩
5/29 (日)	つごい	朝食	もしもの時、 きみならどうする？ (救命救急法) 9:00~12:00	昼食	地域で生かそう ボランティア活動 (クラフト体験) 13:00~14:30					閉講式

★プログラム紹介★



ボランティア活動って何だろう

体験活動の重要性や、ボランティア活動の意義、ボランティアに求められる資質について学んだ。



仲間づくりゲーム

参加者の緊張をほぐし、参加者同士の関係づくりをするために、アイスブレイクのアクティビティを体験した。



ネイチャーゲーム

ハイキングやネイチャーゲームなどを体験しながら、野外活動における指導の留意点などを学んだ。



きみにできること

グループワークでボランティア活動に対するそれぞれの思いを話し合い、全体で共有したり意見交換をしたりした。



もしもの時、君ならどうする？

救命救急法についての講義や体験、危険予知トレーニングなどを通して、野外活動で起きる事故についての対応の仕方を学んだ。



地域で生かそうボランティア活動

青少年教育施設や地域の行事で実践できるよう、クラフト体験と指導法について学んだ。

企画・運営のポイント

- ① 交流の家で体験できる野外活動プログラム、クラフト体験などについて、指導上の留意点や、安全管理のポイントなど、指導者として必要な観点に焦点を当ててプログラムを実施した。
- ② ボランティア活動に対するそれぞれの思いや不安・期待などを話し合い、共有する場を設けることで、今後の活動に対する姿勢を見つめ直す機会となった。
- ③ 参加者がそれぞれの地域で自主的に活動する際に生かせるように、実践的な内容でプログラム構成を行った。

事業を終えて(成果・課題)

- ① 講義だけでなく、体験的な内容でプログラムを構成したことで、ボランティアとして必要なスキルを身につけると同時に、ボランティア活動の楽しさを体感することができた。
- ② 身につけたスキルを実践するために、活動の機会を提供していく必要がある。また、より多くの参加者の確保のため、期日の設定や広報のあり方について検討をしていく必要がある。